

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載

【部門区分】第 6 部門第 2 区分

【発行日】平成 30 年 11 月 8 日 (2018.11.8)

【公開番号】特開 2017-68076 (P2017-68076A)

【公開日】平成 29 年 4 月 6 日 (2017.4.6)

【年通号数】公開・登録公報 2017-014

【出願番号】特願 2015-194224 (P2015-194224)

【国際特許分類】

G 0 2 B 23/24 (2006.01)

A 6 1 B 1/00 (2006.01)

G 0 2 B 23/26 (2006.01)

【 F I 】

G 0 2 B 23/24 A

A 6 1 B 1/00 3 2 0 A

G 0 2 B 23/26 C

【手続補正書】

【提出日】平成 30 年 9 月 28 日 (2018.9.28)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】発明の名称

【補正方法】変更

【補正の内容】

【発明の名称】内視鏡用ガイドチューブ装置

【手続補正 2】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0 0 0 1

【補正方法】変更

【補正の内容】

【 0 0 0 1 】

本発明は、内視鏡用ガイドチューブ装置に関し、特に、配管内を検査するのに好適な内視鏡用ガイドチューブ装置に関する。

【手続補正 3】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0 0 0 9

【補正方法】変更

【補正の内容】

【 0 0 0 9 】

そこで、本発明は、複数の曲管部分を有する複雑な形状の配管に対しても、挿入性の良い内視鏡用ガイドチューブ装置を提供することを目的とする。

【手続補正 4】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0 0 1 1

【補正方法】削除

【補正の内容】

【手続補正 5】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0 0 1 2

【補正方法】変更

【補正の内容】

【 0 0 1 2 】

本発明によれば、複数の曲管部分を有する複雑な形状の配管に対しても、挿入性の良い内視鏡用ガイドチューブ装置を提供することができる。

【手続補正 6】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項 1】

第 1 のコイルガイド部と、
前記第 1 のコイルガイド部の先端側に設けられ、前記第 1 のコイルガイド部よりも曲げ剛性が低い第 2 のコイルガイド部と、
前記第 2 のコイルガイド部の先端部に設けられ、円筒形状を有する先端部材と、
前記先端部材に設けられ、前記先端部材の径方向あるいは略径方向に突出した突出部と、
前記先端部材の前記突出部とは異なる位置に設けられた斜面部と、
を有することを特徴とする内視鏡用ガイドチューブ装置。

【請求項 2】

前記第 1 のコイルガイド部は、密巻きコイルを有し、
前記第 2 のコイルガイド部は、疎巻きコイルを有することを特徴とする請求項 1 に記載の内視鏡用ガイドチューブ装置。

【請求項 3】

前記突出部は、前記先端部材に対して交換可能に設けられていることを特徴とする請求項 1 又は 2 に記載の内視鏡用ガイドチューブ装置。

【請求項 4】

前記突出部は、前記先端部材に対して螺子込みにより固定される螺子部を有する螺子部材であることを特徴とする請求項 3 に記載の内視鏡用ガイドチューブ装置。

【請求項 5】

前記螺子部材は、前記螺子部材の先端部にゴム部材を備えていることを特徴とする請求項 4 に記載の内視鏡用ガイドチューブ装置。

【請求項 6】

前記螺子部材は、前記螺子部材の先端部に軸周りに回転可能なリング状部材を備えていることを特徴とする請求項 4 に記載の内視鏡用ガイドチューブ装置。

【請求項 7】

前記突出部は、前記先端部材に複数設けられていることを特徴とする請求項 1 ～ 6 のいずれか 1 つに記載の内視鏡用ガイドチューブ装置。

【請求項 8】

前記突出部は、前記先端部材に 2 つ設けられており、
前記突出部の軸は互いに直交することを特徴とする請求項 7 に記載の内視鏡用ガイドチューブ装置。

【請求項 9】

前記 2 つの突出部は、互いに長さが異なることを特徴とする請求項 8 に記載の内視鏡用ガイドチューブ装置。

【請求項 10】

前記突出部は、径方向または略径方向へ長さが調整可能であることを特徴とする請求項 4 に記載の内視鏡用ガイドチューブ装置。

【請求項 11】

前記先端部材は、前記第 2 のコイルガイド部の前記先端部に交換可能に設けられている

ことを特徴とする請求項 1 ～ 1 0 のいずれか 1 つに記載の内視鏡用ガイドチューブ装置。

【請求項 1 2】

前記斜面部は、前記第 2 のコイルガイド部の軸の先端側に向かって尖った円錐の側面形状の一部であることを特徴とする請求項 1 ～ 1 1 のいずれか 1 つに記載の内視鏡用ガイドチューブ装置。

【請求項 1 3】

前記円錐は、直円錐であることを特徴とする請求項 1 2 に記載の内視鏡用ガイドチューブ装置。

【請求項 1 4】

前記円錐は、斜円錐であることを特徴とする請求項 1 2 に記載の内視鏡用ガイドチューブ装置。

【請求項 1 5】

前記斜面部は、周状に設けられた凹部を有することを特徴とする請求項 1 2 から 1 4 のいずれか 1 つに記載の内視鏡用ガイドチューブ装置。

【請求項 1 6】

前記突出部は、前記先端部材の前記斜面部よりも基端側に設けられていることを特徴とする請求項 1 ～ 1 5 のいずれか 1 つに記載の内視鏡用ガイドチューブ装置。

【請求項 1 7】

前記第 1 のコイルガイド部と前記第 2 のコイルガイド部を、前記第 1 のコイルガイド部と前記第 2 のコイルガイド部の軸回りに回転駆動させる回転駆動部を有することを特徴とする請求項 1 ～ 1 6 のいずれか 1 つに記載の内視鏡用ガイドチューブ装置。

专利名称(译)	内窥镜导管装置		
公开(公告)号	JP2017068076A5	公开(公告)日	2018-11-08
申请号	JP2015194224	申请日	2015-09-30
[标]申请(专利权)人(译)	奥林巴斯株式会社		
申请(专利权)人(译)	奥林巴斯公司		
[标]发明人	平田康夫		
发明人	平田 康夫		
IPC分类号	G02B23/24 A61B1/00 G02B23/26		
FI分类号	G02B23/24.A A61B1/00.320.A G02B23/26.C		
F-TERM分类号	2H040/DA12 2H040/DA16 2H040/DA54 4C161/AA29 4C161/GG24 4C161/JJ06		
代理人(译)	伊藤 进 长谷川 靖 ShinoUra修		
其他公开文献	JP2017068076A		

摘要(译)

要解决的问题：为具有良好插入性的内窥镜提供导管装置和内窥镜，即使对于具有多个弯曲管部分的复杂形状的管也是如此。 解决方案：用于内窥镜的导管装置包括第一线圈部分16a，设置在线圈部分16a的远端侧并具有比第一线圈部分16a低的抗弯刚度的第二线圈部分16b，远端构件14设置在第二线圈部分16b的远端部分处并且具有圆柱形状，螺钉18设置在远端构件14上并且在远端构件14的径向方向或大致径向方向上突出，并且倾斜表面部分14a设置在与倾斜表面部分18不同的位置处。 .
The